

## 動作環境

### ■サーバ(DB/APサーバ)

オペレーティングシステム	CentOS 7 または Red Hat Enterprise Linux 7
ミドルウェア	PostgreSQL, OpenJDK, Apache, Tomcat

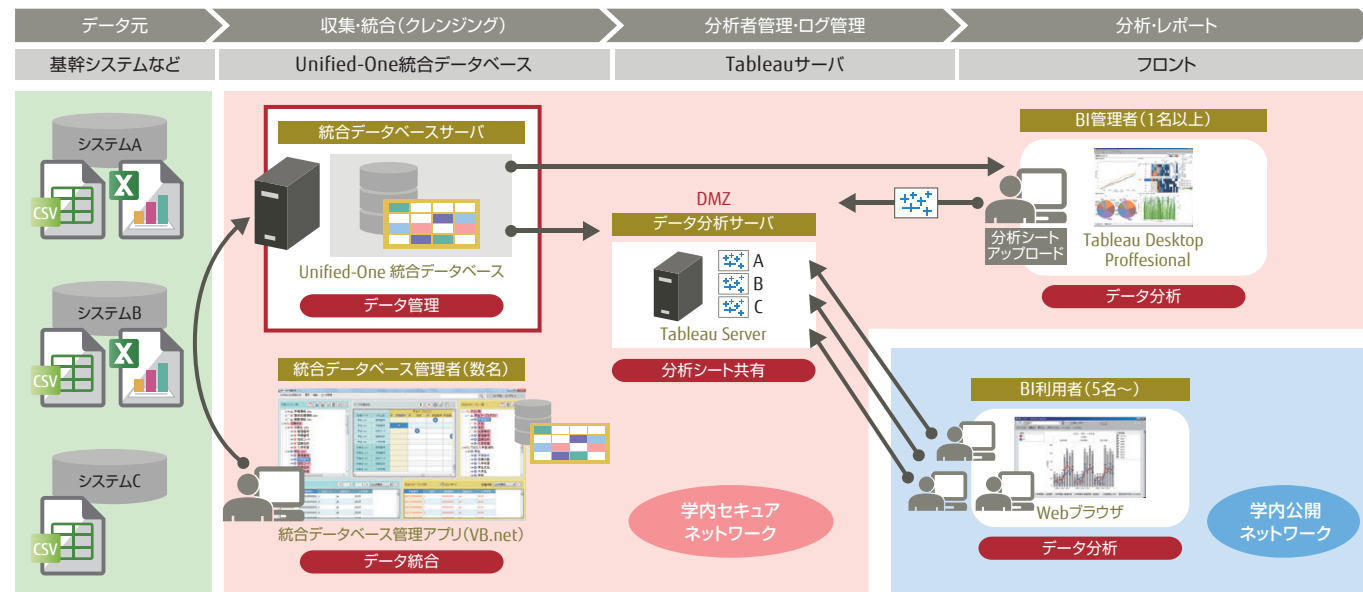
### ■クライアント

オペレーティングシステム	Microsoft Windows
必須ソフトウェア	Microsoft Office Excel 2007以降, Microsoft .NET Framework 4.5.2以降

## 製品体系

パッケージ	Unified-One 統合データベース V1 メディアバック
	Unified-One 統合データベース V1 基本(1接続ユーザ付き)
	Unified-One 統合データベース V1 1接続ユーザ
	Unified-One 統合データベース V1 1接続システム
プログラムサポート	Unified-One 統合データベース V1 1基本(1接続ユーザ付き) プログラムサポート(月額)
	Unified-One 統合データベース V1 1基本(1接続ユーザ付き) プログラムサポート(年額)
	Unified-One 統合データベース V1 1接続ユーザ プログラムサポート(月額)
	Unified-One 統合データベース V1 1接続ユーザ プログラムサポート(年額)
	Unified-One 統合データベース V1 1接続システム プログラムサポート(月額)
	Unified-One 統合データベース V1 1接続システム プログラムサポート(年額)

## システム構成イメージ



# FUJITSU 文教ソリューション Unified-One ユニファイドワン 統合データベース



Green Policy Innovation

●記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。  
●本カタログに記載の仕様は、改善のため予告なしに変更する場合がありますので予めご了承ください。



商品情報ページ <http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/campus/management/>

製品・サービスについてのお問い合わせは

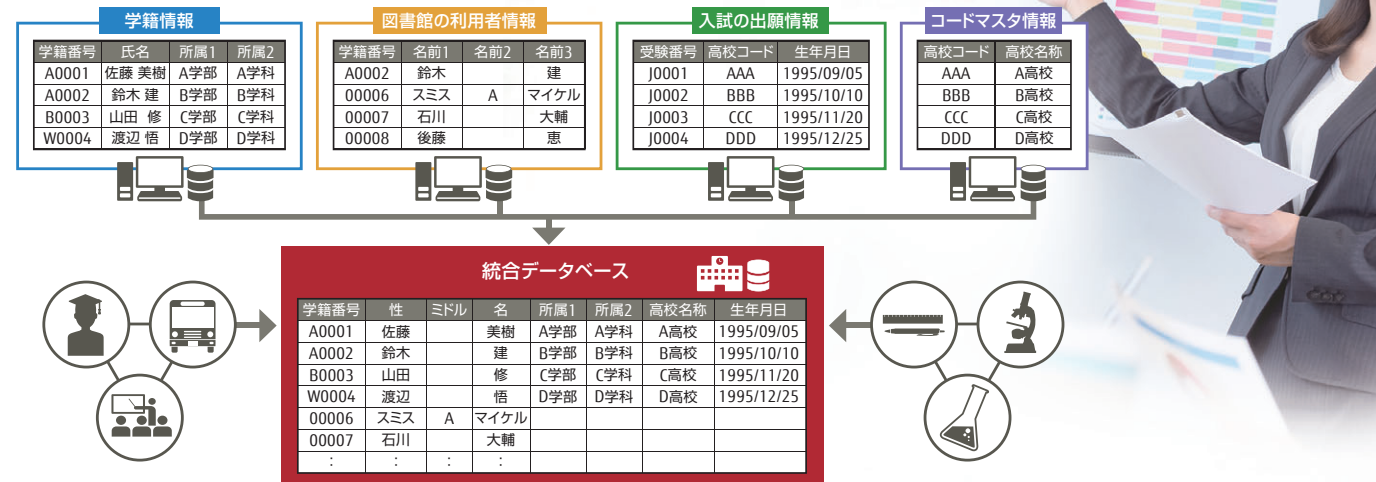
富士通コンタクトライン (総合窓口) **0120-933-200**

受付時間 9:00~17:30 (土日・祝日・当社指定の休業日を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

# 大学IRの内製化を目指すために、富士通の「Unified-One 統合データベース」がサポートします。

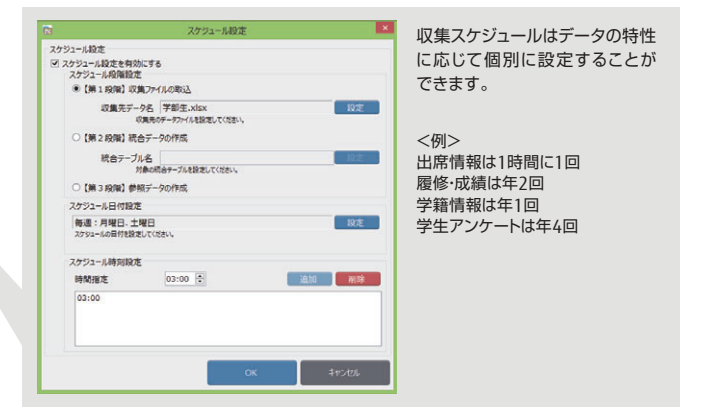
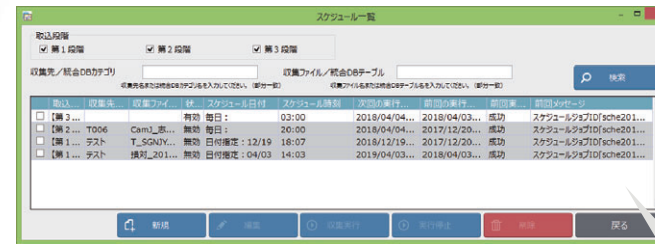
大学IRを推進するためには、データの統合・分析に関して“属人的なスキルのままにしないこと”“新たな大学業務として定着させること”が重要なポイントであると富士通は考えます。そのような課題認識から生まれた「Unified-One 統合データベース」は、大学IRを強力に支援するDBを備えたETLツールです。



## 特長

### 大学内に分散するデータを自動収集

データを多角的に分析するには、学内にサイロ型に分散しているデータを効率的に収集し続け、常に最新の状態でアップデートしておく必要があります。本製品は、各システムや職員からのデータを受け取るファイルサーバ機能が付属しており、そこにアップロードされたCSVやExcelファイルを設定したタイミングで統合データベースに自動反映することができます。このようにデータ収集を継続的な業務として定着することにより、経年変化による過去から現在までの動向分析など、幅広いデータ活用ができます。



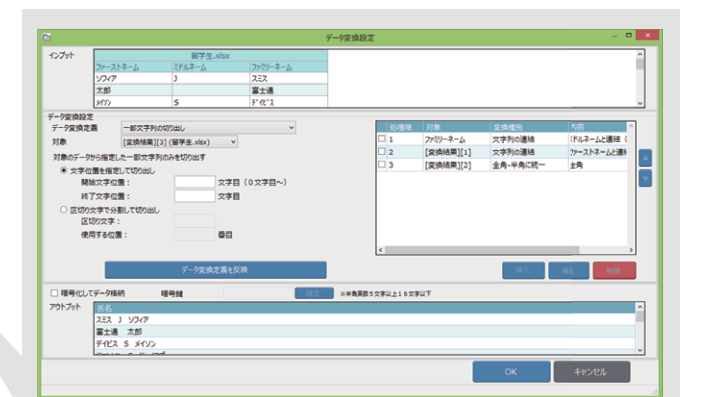
収集スケジュールはデータの特性に応じて個別に設定することができます。

<例>  
出席情報は1時間に1回  
履修・成績は年2回  
学籍情報は年1回  
学生アンケートは年4回

### データ加工やクレンジングの自動化

分析をより効率的かつ効果的に行うには、分析対象となるデータが正確であり、また、そのまま分析しやすい状態にクレンジングされていることが大切です。データ変換機能を使うことで、この手間のかかるデータ加工を専門知識を持たない人でも簡単に設定することができます。設定後はシステムが自動的に大量データを一括変換して統合データベースに蓄積するため、現場では分析に注力することができます。

カラム名	学籍番号	氏名	性別	TOEIC最高点
個人番号	+			
ファーストネーム		+		
ミドルネーム			+	
ファミリーネーム				
性別			+	
個人番号				+
TOEIC1回目				+
TOEIC2回目				+
TOEIC3回目				+



通常はプログラミングやデータベース操作言語(SQL)の知識が必要なデータ変換処理が、画面で簡単に設定できます。また、単純な処理を組み合わせることで複雑なデータ変換にも対応できます。

### 誰でも簡単にデータ統合ができます

例えば、学内に点在する学生の情報を学籍番号や受験番号で誰でも簡単に紐づけることができれば、入学～在学～卒業までの学生情報を統合した大きなデータベースを大学自身で内製化できます。Unified-One 統合データベースのわかり易く直観的なUI/UXにより、データベースの構築・管理のスキルをすぐにマスターできます。

スプレッドシートタイプのUIでマップするだけで簡単にデータを統合できます。  
★特許出願済み

<収集データ>

学籍番号	氏名	性別	TOEIC最高点
A09001	ソフィア	J	スミス
A13005	太郎	男	田中
A01003	メイ	F	山田
A01002	ジェイク	M	ジョンソン
A09004	エマ	F	ウィリアムズ
A05005	アレクサンダー	J	ブラウン

<統合データ>

学籍番号	氏名	性別	TOEIC
A09001	ソフィア	女	スミス
A13005	太郎	男	田中
A01003	メイ	女	山田
A01002	ジェイク	男	ジョンソン
A09004	エマ	女	ウィリアムズ
A05005	アレクサンダー	男	ブラウン

統合結果はプレビューで確認できるため、間違いに即座に気づくことができます。

### いつでもデータの拡充ができます

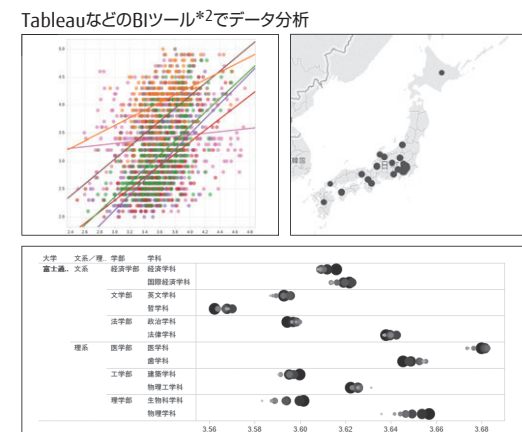
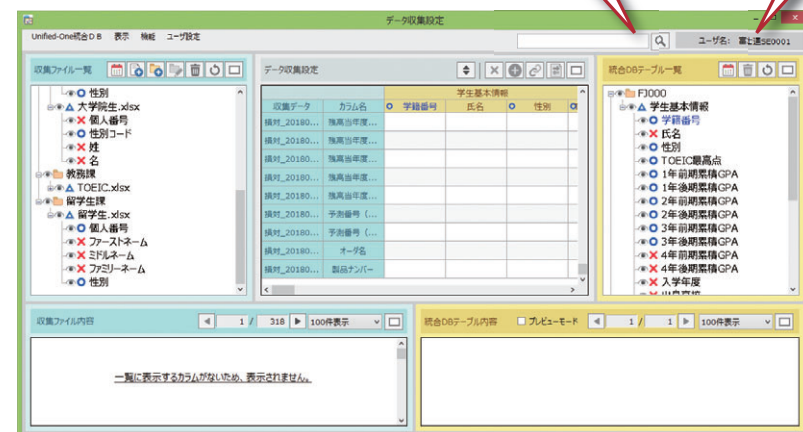
一度データを統合しても、新たに「学生アンケートをつなげてみたい」、「財務データを投入して学内で活用したい」といった追加の要望が発生します。そのような要望の都度、システムエンジニアに依頼しなければならないのであれば保守費用が削減できません。Unified-One 統合データベースはデータの拡充も容易なため、データ統合を新たな大学業務として定着させることができます。

Excelファイルですぐにデータベースを作成することができます。

新たなデータ項目が必要になった場合も画面から簡単に追加できます。

- 学籍番号
- 氏名
- 性別
- TOEIC
- 学生アンケート
- 実働年度
- 満足度分析
- 学籍番号
- 氏名
- 性別
- TOEIC
- 学生アンケート
- 実働年度
- 満足度分析
- 学籍番号
- 氏名
- 性別
- TOEIC
- 学生アンケート
- 実働年度
- 満足度分析

## ローコスト・専門家不要で実現するデータ統合



\*1 ETL (Extract / Transform / Load) ツール: データの収集・変換・活用機能の備えたソフトウェア \*2 BI (Business Intelligence) ツール: データの集計・可視化・分析機能の備えたソフトウェア

### 統合したデータを大学業務における様々な場面で活用

統合データベースに集約・蓄積されたデータを、BIツールを使って様々な切り口から集計・分析することで、あらゆる大学業務に役立てることができます。

#### ファクトブック

毎年の学部ごとのデータカタログを作成することができます。最新情報の学外への公開も容易になります。

#### 研究評価

研究者情報や論文参照率、科研費取得状況をグラフ化し、強みとなる研究の見極めと投資に活用することができます。

#### 経営会議

中長期計画の評価や、入試戦略、寄付金戦略、研究の強化など、経営戦略における意思決定を支援する傾向や経年変化をレポートします。

#### 高校訪問ノート

広報の一環として、高校への説明会で活用するレポートを作成することができます。出身高校に合わせて、大学における活動状況や実績などをわかり易く伝えるためのノートとして活用できます。

#### 離学者の傾向分析

過去の退学・留年者の平均GPAを基に退学・留年予備軍の学生を抽出し、早期の指導を行うことができます。

#### 認証評価への対応

アドミッションポリシー (AP)、カリキュラムポリシー (CP)、ディプロマポリシー (DP) に基づき、大学教育改革の効果の検証や、新たな施策立案を支援するための分析レポートを行うことができます。

